

第1回私学部会を行いました（1月13日）

第1回インクルーシブ教育学会私学部会を、1月13日（土）18:00～19:45に早稲田大学16号館605教室で行いました。私学における特別支援教育は立ち遅れが目立っておりますが、各校の実践や課題を情報共有したり、一緒に勉強したりしながら少しずつ歩んでゆければと存じます。第1回は、メインの話題提供者として大東学園高等学校の遠藤裕子先生をお招きしました。遠藤先生のご実践を紹介して頂き、その後、参加者同士の情報交換を行いました。（参加者11名）

話題提供（大東学園高校 遠藤裕子先生）

「特別支援教育のセンター的な役割を担う一職員室との協働で進める相談室運営の一環として」のタイトルで、相談室の活動を中心に、ポトムアップによる体制整備を紹介して頂きました。



《参加者の感想》

『本当によくやれていてうらやましい限りです。私の学校は、学校全体の教員（管理職も含めて）の意識をまず少しずつ変えていただく努力を少しずつしている段階なので、将来的には遠藤先生のようにできたらなと思いました。』

『同じ私学でもここまで実践ができるという心強いお話をして頂きました。』

『システムの話は応用できそうだったので、委員会で検討したいと思った。』

参加者による情報交換会

遠藤先生に対する質問の後、2グループに分かれて、情報交換会を行いました。自己紹介の後、自校の様子や実践、目下の課題について共有し、お互いにアドバイスをし合うなど、和やかな中にも活発な情報交換・意見交換が行われました。



《参加者の感想》

『他校の様子が聞けて有意義でした。』

『体制作りにも悩みを抱えているのが共通点だと感じた。』

『短い時間でしたが、それぞれの学校の課題、目指すものなどについて情報共有でき、うれしく思いました。回を重ねることにより、より親密な交換会になれる気がしました。』

私学部会へのお誘い

まずは、手探りで動き出すところから始めた私学部会ですが、今後も、気軽に参加できる会を継続して参ります。来年度の活動計画が定まりましたら、改めてご案内いたしますので、お気軽にご参加願います。

担当理事（一ノ瀬）